

大学番号：私171

注3

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

岐阜医療科学大学 看護学部 看護学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人神野学園
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学部設置準備室
職名・氏名	シツチョウホ サ ノスエアキヒロ 室長 補佐 野末明宏
電話番号	0575-22-9401
（夜間）	0575-22-9401
F A X	0575-23-0884
e-mail	nozue@u-gifu-ms.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

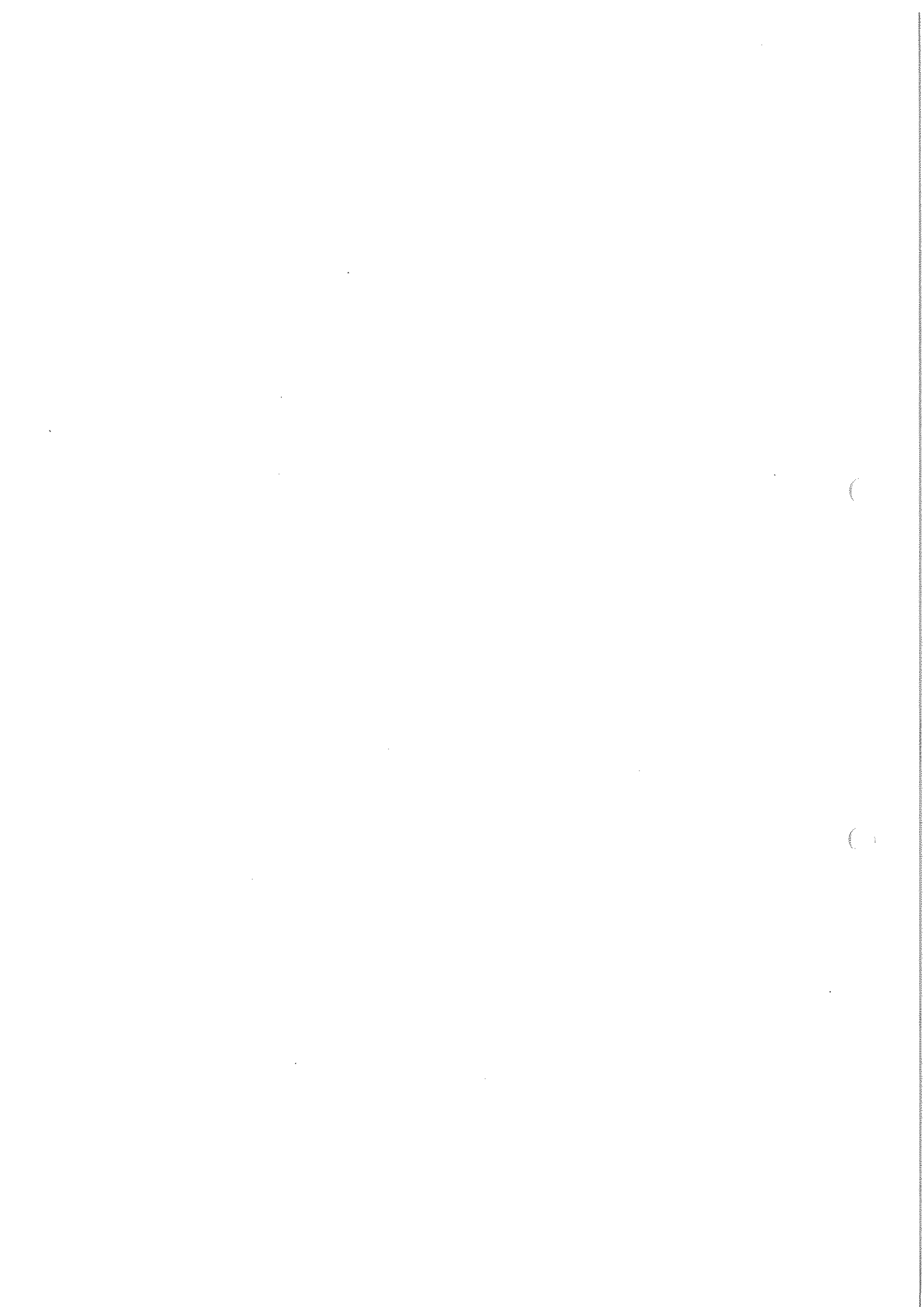
(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

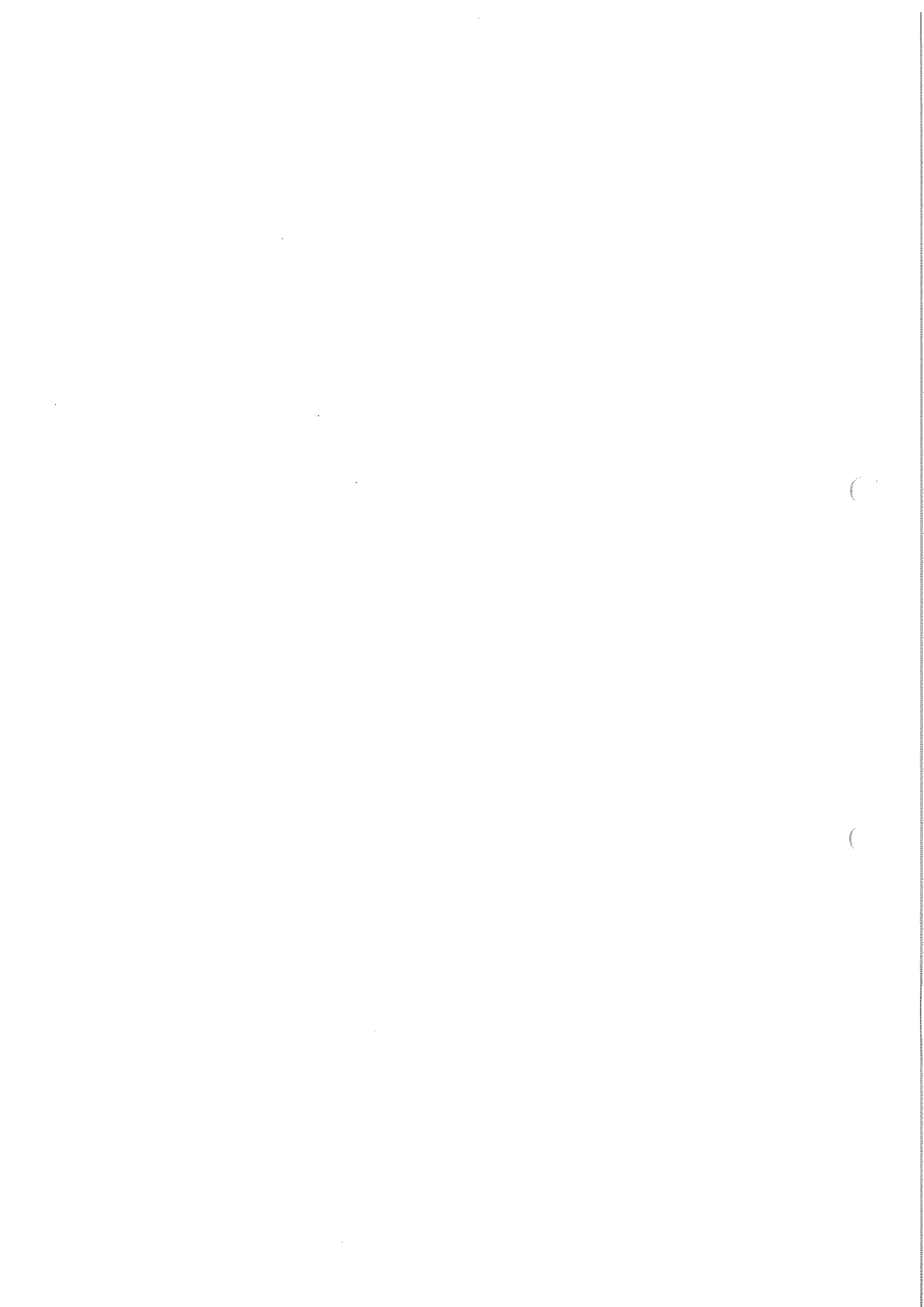
3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。



目次

看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 留意事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22



1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人神野学園

(2) 大学名

岐阜医療科学大学

(3) 大学の位置

〒501-3892

岐阜県関市市平賀字長峰795-1

(本部の位置)

〒461-0001

(愛知県名古屋市東区泉1丁目23番37号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヤマダ ヒロユキ) 山田 弘幸 (平成26年4月1日)		
学長	(マノ タカキ) 間野 忠明 (平成18年4月1日)		
学部長	(ミイ ジュウコ) 薬袋 淳子 (平成30年4月1日)		
学科長等	(スギウラ ヒロコ) 杉浦 浩子 (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	4年	100人	0年次人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	100 () []	() []	1.23倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	597 () []	() []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	589 () []	() []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	385 () []	() []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	123 () []	() []		
入学定員超過率 B/A							1.23			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	123 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次							[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	123 [-] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	123人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	0人	一人	
合計	123人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{123} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	哲学	1前	2								兼1	
	倫理学	1前	2								兼1	
	生命倫理学	1後	2								兼1	
	心理学	1前	2								兼1	
	社会学	1前	2								兼1	
	法学	1前	2								兼1	
	経済学	1前	2								兼1	
	教育学	1後	2								兼1	
	社会実習・マナー技法	1前	1								兼1	
	カウンセリング技法	1前	1								兼1	
	ボランティア技法	1前	1								兼1	
	手話技法	1前	1								兼1	
	アカデミック技法	1前	1				1	1	2	8	5	兼1
	基礎セミナー	1前	1				8	3	10	8	5	兼1
	情報処理入門	1前	1									兼1
	情報処理	1前	1									兼1
	基礎数学	1前	1									兼1
	基礎物理学	1前	1									兼1
	基礎化学	1前	1									兼1
	基礎生物学	1前	1									兼1
	基礎英語	1前	1									兼1
	英語 I	1後	1									兼1
	英語 II	2前	1									兼1
	医療英語	2後	1									兼1
	英会話 I (初級)	1後	1									兼3
	英会話 II (中級)	2前	1									兼2
中国語	1前	1									兼1	
韓国語	1前	1									兼1	
ドイツ語	1後	1									兼1	
ポルトガル語	1後	1									兼1	
健康科学概論	1後	1									兼1	
チーム医療論	1前	1				1					兼4	
体育実技	1前	1									兼1	
環境科学概論	1後	1									兼1	
専門基礎科目	人類遺伝・発生学	1後	1								兼1	
	人体構造学 I	1前	1								兼1	
	人体構造学 II	1後	1								兼1	
	人体生理機能学 I	1後	1								兼1	
	人体生理機能学 II	2前	1								兼1	
	発達心理学	1後	1								兼1	
	医療心理学	1後	1								兼1	
	食生活論	3前	1								兼1	
	保健医療福祉制度論 I	2前	2								兼1	
	保健医療福祉制度論 II	3前	1				1				兼1	
	社会福祉学	1後	1								兼1	
	保健学 I (公衆衛生)	2前	1				1				兼1	
	保健学 II (疫学)	2後	2				1				兼1	
	保健統計	2前	1				1				兼1	
	医療安全管理学	3前	1				1				兼1	
	医学概論	1前	1								兼2	
	生化学	1後	1								兼1	
	薬理学	3前	1								兼1	
	微生物学	1前	1								兼2	
	運動指導論	2前	1								兼1	
	臨床病理学総論	1後	1				1				兼1	
	疾病・治療論 I (成人・老年 I)	2前	2								兼1	
	疾病・治療論 II (成人・老年 II)	2前	2								兼1	
	疾病・治療論 III (精神)	2前	1								兼1	
	疾病・治療論 IV (母性)	2後	1								兼1	
	疾病・治療論 V (小児)	2後	1								兼2	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	哲学	1前	2								兼1	
	倫理学	1前	2								兼1	
	生命倫理学	1後	2								兼1	
	心理学	1前	2								兼1	
	社会学	1前	2								兼1	
	法学	1前	2								兼1	
	経済学	1前	2								兼1	
	教育学	1後	2								兼1	
	社会実習・マナー技法	1前	1								兼1	
	カウンセリング技法	1前	1								兼1	
	ボランティア技法	1前	1								兼1	
	手話技法	1前	1								兼1	
	アカデミック技法	1前	1				1	1	2	9	3	兼1
	基礎セミナー	1前	1				9	3	10	9	3	兼1
	情報処理入門	1前	1									兼1
	情報処理	1前	1									兼1
	基礎数学	1前	1									兼1
	基礎物理学	1前	1									兼1
	基礎化学	1前	1									兼1
	基礎生物学	1前	1									兼1
	基礎英語	1前	1									兼1
	英語 I	1後	1									兼1
	英語 II	2前	1									兼1
	医療英語	2後	1									兼1
	英会話 I (初級)	1後	1									兼3
	英会話 II (中級)	2前	1									兼2
中国語	1前	1									兼1	
韓国語	1前	1									兼1	
ドイツ語	1後	1									兼1	
ポルトガル語	1後	1									兼1	
健康科学概論	1後	1									兼1	
チーム医療論	1前	1				1					兼7	
体育実技	1前	1									兼1	
環境科学概論	1後	1									兼1	
専門基礎科目	人類遺伝・発生学	1後	1								兼1	
	人体構造学 I	1前	1								兼1	
	人体構造学 II	1後	1								兼1	
	人体生理機能学 I	1後	1								兼1	
	人体生理機能学 II	2前	1								兼1	
	発達心理学	1後	1								兼1	
	医療心理学	1後	1								兼1	
	食生活論	3前	1								兼1	
	保健医療福祉制度論 I	2前	2								兼1	
	保健医療福祉制度論 II	3前	1				1				兼1	
	社会福祉学	1後	1								兼1	
	保健学 I (公衆衛生)	2前	1				1				兼1	
	保健学 II (疫学)	2後	2				1				兼1	
	保健統計	2前	1				1				兼1	
	医療安全管理学	3前	1				1				兼1	
	医学概論	1前	1								兼2	
	生化学	1後	1								兼1	
	薬理学	3前	1								兼1	
	微生物学	1前	1								兼2	
	運動指導論	2前	1								兼1	
	臨床病理学総論	1後	1				1				兼1	
	疾病・治療論 I (成人・老年 I)	2前	2								兼1	
	疾病・治療論 II (成人・老年 II)	2前	2								兼1	
	疾病・治療論 III (精神)	2前	1								兼1	
	疾病・治療論 IV (母性)	2後	1								兼1	
	疾病・治療論 V (小児)	2後	1								兼2	

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手	兼任・兼任		
専門科目	看護学概論Ⅰ	1前	2			1							
	看護学概論Ⅱ	1後	1			1							
	基礎看護学方法Ⅰ (共通基本技術)	1後	2			1		1	1	2			
	基礎看護学方法Ⅱ (日常生活援助技術)	2前	2					1	1	2			
	基礎看護学方法Ⅲ (看護過程構築技術)	2前	1			1		1	1	2			
	基礎看護学方法Ⅳ (認知・対応に関する技術)	2後	1					1	1	2			
	基礎看護学実習Ⅰ	2前	1			1		1	1	2			
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1		1	1	2			
	母性看護学概論	2後	2				1		1	1			
	母性看護学方法	3前	2				1		1	1		兼2	
	母性看護学実習	3後	2				1		1	1			
	小児看護学概論	2後	2				2						
	小児看護学方法	3前	2				2	1				兼1	
	小児看護学実習	3後	2				2	1					
	成人看護学概論	2前	2				1		1	1		兼1	
	成人看護学方法Ⅰ(急性期)	2後	2				1		1	3	1		
	成人看護学方法Ⅱ(慢性期)	3前	2				1		1	3	1	兼2	
	成人看護学実習Ⅰ	3後	3				1		1	3	1		
	成人看護学実習Ⅱ	3後	3				1		1	3	1		
	老年看護学概論	2後	2				1		3	1			
	老年看護学方法	3前	2				1		3	1			
	老年看護学実習	3後	4				1		3	1			
	精神看護学概論	2後	2				1		1	1		兼1	
	精神看護学方法	3前	2				1		1	1		兼1	
	精神看護学実習	3後	2				1		1	1			
	公衆衛生看護学概論	2前	2				1					兼1	
	公衆衛生看護学概論Ⅰ (地区活動)	2後	2				1		2	1			
	公衆衛生看護学概論Ⅱ (産業保健)	3前		2								兼3	
	公衆衛生看護学概論Ⅲ (学校保健)	3前		2			1					兼1	
	公衆衛生看護学方法Ⅰ	3前		2			1		2	1			
公衆衛生看護学方法Ⅱ	4前		2					2					
公衆衛生看護学実習Ⅰ (地区活動)	4通		4			1		2	1				
公衆衛生看護学実習Ⅱ (産業保健)	4後		1			1		2	1				
看護倫理	4後		1								兼2		
医療データ分析論	3前		1								兼6		
看護教育学	3前		1			3		1					
感染看護論	4前		1								兼1		
鍼灸・漢方セミナー	3前		1								兼1		
トリートメント ケアセミナー	4後		1			1	3						
フィジカルアセスメント論	3前		1								兼1		
在宅看護論	2後		2			2		1	1				
在宅看護方法	3前		2			2		1	1		兼2		
在宅看護実習	3後		2			2		1	1				
統合看護演習	4後		2			2	2	1			兼5		
災害看護論	4後		2			1							
看護管理学	4前		1								兼1		
統合看護実習	4前		2			5	3	7	6	3			
看護理論	4後		1			1							
家族援助論	2後		1			3					兼2		
ターミナルケア論	4後		1			1					兼1		
国際看護論	4前		1			1							
チーム医療演習	4前		1			3	1				兼7		
卒業研究	4通		3			9	3	10	8	5			

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手	兼任・兼任		
専門科目	看護学概論Ⅰ	1前	2			1							
	看護学概論Ⅱ	1後	1			1							
	基礎看護学方法Ⅰ (共通基本技術)	1後	2			1		1	1	1			
	基礎看護学方法Ⅱ (日常生活援助技術)	2前	2					1	1	1			
	基礎看護学方法Ⅲ (看護過程構築技術)	2前	1			1		1	1	1			
	基礎看護学方法Ⅳ (認知・対応に関する技術)	2後	1					1	1	1			
	基礎看護学実習Ⅰ	2前	1			1		1	1	1			
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1		1	1	1			
	母性看護学概論	2後	2				1		1	1			
	母性看護学方法	3前	2				1		1	1		兼2	
	母性看護学実習	3後	2				1		1	1			
	小児看護学概論	2後	2				2						
	小児看護学方法	3前	2				2	1				兼1	
	小児看護学実習	3後	2				2	1					
	成人看護学概論	2前	2				1		1	1		兼1	
	成人看護学方法Ⅰ(急性期)	2後	2				1		1	4	0		
	成人看護学方法Ⅱ(慢性期)	3前	2				1		1	3	0	兼2	
	成人看護学実習Ⅰ	3後	3				1		1	4	0		
	成人看護学実習Ⅱ	3後	3				1		1	4	0		
	老年看護学概論	2後	2				1		3	1			
	老年看護学方法	3前	2				1		3	1			
	老年看護学実習	3後	4				1		3	1			
	精神看護学概論	2後	2				1		1	1		兼1	
	精神看護学方法	3前	2				1		1	1		兼1	
	精神看護学実習	3後	2				1		1	1			
	公衆衛生看護学概論	2前	2				1					兼1	
	公衆衛生看護学概論Ⅰ (地区活動)	2後	2				1		2	1			
	公衆衛生看護学概論Ⅱ (産業保健)	3前		2								兼3	
	公衆衛生看護学概論Ⅲ (学校保健)	3前		2			1					兼1	
	公衆衛生看護学方法Ⅰ	3前		2			1		2	1			
公衆衛生看護学方法Ⅱ	4前		2					2					
公衆衛生看護学実習Ⅰ (地区活動)	4通		4			1		2	1				
公衆衛生看護学実習Ⅱ (産業保健)	4後		1			1		2	1				
看護倫理	4後		1								兼2		
医療データ分析論	3前		1								兼6		
看護教育学	3前		1			3		1					
感染看護論	4前		1								兼1		
鍼灸・漢方セミナー	3前		1								兼1		
トリートメント ケアセミナー	4後		1			1	3						
フィジカルアセスメント論	3前		1								兼1		
在宅看護論	2後		2			2		1	1				
在宅看護方法	3前		2			2		1	1		兼2		
在宅看護実習	3後		2			2		1	1				
統合看護演習	4後		2			2	2	1			兼5		
災害看護論	4後		2			1							
看護管理学	4前		1								兼1		
統合看護実習	4前		2			5	3	7	7	2			
看護理論	4後		1			1							
家族援助論	2後		1			3					兼2		
ターミナルケア論	4後		1			1					兼1		
国際看護論	4前		1			1							
チーム医療演習	4前		1			3	1				兼7		
卒業研究	4通		3			10	3	10	9	3			

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・教育体制充実のため、専任教員（教授）1名増員及び助手から助教へ1名昇任の理由により、「基礎セミナー」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授9」、「助教8」から「助教9」に増員し、また助手の配置を昇任及び1名退職により「5」から「3」に減員。

・教育体制充実の理由により、「チーム医療論」の兼担・兼任教員等の配置を「4」から「7」に変更。

・教育体制充実のため、専任教員（教授）1名増員の理由により、「看護学概論Ⅱ」、「基礎看護学方法Ⅰ」（共通基本技術）、「基礎看護学方法Ⅱ」（日常生活援助）、基礎看護学方法Ⅲ（看護過程展開技術）、基礎看護学方法Ⅳ（診断治療に伴う援助技術）、「基礎看護学実習Ⅰ」、「基礎看護学実習Ⅱ」、「統合看護実習」、「卒業研究」の教授教の配置を1名増員。

・助手1名退職の理由により、「基礎看護学方法Ⅰ」（共通基本技術）、「基礎看護学方法Ⅱ」（日常生活援助技術）、「基礎看護学方法Ⅲ」（看護過程展開技術）、「基礎看護学方法Ⅳ」（診断・治療に伴う援助技術）、「基礎看護学実習Ⅰ」、「基礎看護学実習Ⅱ」の助手の配置を1名減員。

・教育体制充実のため助手から助教に1名昇任の理由により、「成人看護学方法Ⅰ」（急性期）、「成人看護学方法Ⅱ」（慢性期）、「成人看護学実習Ⅰ」、「成人看護学実習Ⅱ」、「統合看護実習」、「卒業研究」の助教の配置を1名増員し助手を1名減員。（「卒業研究」にあっては昇任及び退職の理由により助手の配置を「5」から「3」に変更）

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
74 科目	40 科目	0 科目	114 科目	74 科目 [-]	40 科目 [-]	0 科目 [-]	114 科目 [-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし	—	—	—	—	—

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし	—	—	—	—	—

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{114} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	65,616.54㎡	— ㎡	— ㎡	65,616.54㎡			
	運動場用地	42,516.29㎡	— ㎡	— ㎡	42,516.29㎡			
	小 計	108,132.83㎡	— ㎡	— ㎡	108,132.83㎡			
	そ の 他	119,418.77㎡	— ㎡	— ㎡	119,418.77㎡			
	合 計	227,551.60㎡	— ㎡	— ㎡	227,551.60㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		32,602.84㎡ (32,602.84㎡)	— ㎡ (— ㎡)	— ㎡ (— ㎡)	32,602.84㎡ (32,602.84㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室 36室	演 習 室 16室	実験実習室 54室	情報処理学習施設 4室 (補助職員一人)	語学学習施設 1室 (補助職員一人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 看護学部 看護学科			室 数 24 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械・器 具 点	標 本 点	
		看護学部	14,600 [1,009] (13,670 [949])	73 [15] (68 [15])	12 [12] (12 [12])	562 (549)	1,364 (1,364)	238 (238)
	計	14,600 [1,009] (13,670 [949])	73 [15] (68 [15])	12 [12] (12 [12])	562 (549)	1,364 (5,564)	238 (282)	
	(6) 図 書 館	面 積 726.73㎡	閱 覧 座 席 数 132	収 納 可 能 冊 数 80,000				
(7) 体 育 館	面 積 1,457.67㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 屋外バスケットコート1面		体育室2部屋				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備購入費の減少は、必要設備の見直しによる(30)
		教員1人当り研究費等	600千円	600千円	図書購入費	12,840 12,994千円	15,800千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	8,364 3,796千円	36,000千円	10,500千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,650千円	第2年次 1,450千円	第3年次 1,450千円	第4年次 1,450千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、補助活動収入、寄付金、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称		岐阜医療科学大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
看護学部									
看護学科	4	100	—	400	学士 (看護学)	1.23	平成30年度	岐阜県関門市平賀字長峰795-1	平成30年4月学生募集停止
保健科学部						1.15			
臨床検査学科	4	90	—	340	学士 (保健学)	1.14	平成18年度	岐阜県関門市平賀字長峰795-1	
放射線技術学科	4	90	—	340	学士 (保健学)	1.18	平成18年度	同上	
看護学科	4	—	—	—	学士 (看護学)	—	平成18年度	同上	
保健医療学研究科								岐阜県関門市平賀字長峰795-1	
保健医療学専攻	2	9	—	18	修士 (保健医療学)	0.88	平成28年度		
大学の名称		中日本自動車短期大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
自動車工学科	2	200	—	400	短期大学士 (自動車工学)	0.80	昭和42年度	岐阜県加茂郡坂祝町深萱1301	平成30年度入学定員減(10名)
モーター・エンジン・エアリフ学科	3	30	—	110	短期大学士 (自動車工学)	0.83	平成21年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	葉賀 淳子 (54) <平成30年4月> チーム医療論 看護教育学 在宅看護論 在宅看護方法 在宅看護実習 統合看護実習 家族援助論 ターミナルケア論 チーム医療演習 卒業研究	専	教授	葉賀 淳子 (54) <平成30年4月> チーム医療論 看護教育学 在宅看護論 在宅看護方法 在宅看護実習 統合看護実習 家族援助論 ターミナルケア論 チーム医療演習 卒業研究
専	教授	内野 聖子 (47) <平成30年4月> 基礎セミナー 老年看護学概論 老年看護学方法 老年看護学実習 統合看護演習 統合看護実習 卒業研究	専	教授	内野 聖子 (47) <平成30年4月> 基礎セミナー 老年看護学概論 老年看護学方法 老年看護学実習 統合看護演習 統合看護実習 卒業研究
専	教授	杉浦 浩子 (51) <平成30年4月> 基礎セミナー 精神看護学概論 精神看護学方法 精神看護学実習 統合看護演習 統合看護実習 看護理論 チーム医療演習 卒業研究	専	教授	杉浦 浩子 (51) <平成30年4月> 基礎セミナー 精神看護学概論 精神看護学方法 精神看護学実習 統合看護演習 統合看護実習 看護理論 チーム医療演習 卒業研究
専	教授	成 順月 (53) <平成30年4月> 基礎セミナー 保健学Ⅱ(疫学) 保健統計 臨床病理学総論 統合看護演習 卒業研究	専	教授	成 順月 (53) <平成30年4月> 基礎セミナー 保健学Ⅱ(疫学) 保健統計 臨床病理学総論 統合看護演習 卒業研究
専	教授	高田 規久子 (62) <平成30年4月> 基礎セミナー 医療安全管理学 成人看護学概論 成人看護学方法Ⅰ (他任期) 成人看護学方法Ⅱ (他任期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合看護演習 統合看護実習 卒業研究	専	教授	高田 規久子 (62) <平成30年4月> 基礎セミナー 医療安全管理学 成人看護学概論 成人看護学方法Ⅰ (他任期) 成人看護学方法Ⅱ (他任期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合看護演習 統合看護実習 卒業研究
専	教授	橋本 廣子 (67) <平成30年4月> 基礎セミナー 保健医療福祉概論Ⅱ 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学方法Ⅰ (他任期) 公衆衛生看護学方法Ⅱ 公衆衛生看護学演習Ⅰ (他任期) 公衆衛生看護学実習Ⅰ (他任期) 公衆衛生看護学実習Ⅱ (産業保健) 家族援助論 卒業研究	専	教授	橋本 廣子 (67) <平成30年4月> 基礎セミナー 保健医療福祉概論Ⅱ 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学方法Ⅰ (他任期) 公衆衛生看護学方法Ⅱ 公衆衛生看護学演習Ⅰ (他任期) 公衆衛生看護学実習Ⅰ (他任期) 公衆衛生看護学実習Ⅱ (産業保健) 家族援助論 卒業研究
専	教授	藤井 洋子 (55) <平成30年4月> 基礎セミナー 看護学概論Ⅰ 看護学概論Ⅱ 基礎看護学方法Ⅰ (共通基本技術) 基礎看護学方法Ⅱ (看護過程観察技術) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護教育学 統合看護演習 卒業研究	専	教授	藤井 洋子 (55) <平成30年4月> 基礎セミナー 看護学概論Ⅰ 看護学概論Ⅱ 基礎看護学方法Ⅰ (共通基本技術) 基礎看護学方法Ⅱ (看護過程観察技術) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護教育学 統合看護演習 卒業研究
専	教授	松戸 恵子 (62) <平成30年4月> 基礎セミナー 看護教育学 在宅看護論 在宅看護方法 在宅看護実習 統合看護実習 家族援助論 チーム医療演習 卒業研究	専	教授	松戸 恵子 (62) <平成30年4月> 基礎セミナー 看護教育学 在宅看護論 在宅看護方法 在宅看護実習 統合看護実習 家族援助論 チーム医療演習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
専任	三谷 智子 (59) <平成30年4月>	専任	三谷 智子 (59) <平成30年4月>
	アカデミック技法 基礎セミナー 保健学Ⅰ(公衆衛生) 統合看護演習 災害看護論 国際看護論 卒業研究		アカデミック技法 基礎セミナー 保健学Ⅰ(公衆衛生) 統合看護演習 災害看護論 国際看護論 卒業研究
専任	山本 洋子 (50) <平成30年4月>	専任	山本 洋子 (50) <平成30年4月>
	基礎セミナー 看護学概論Ⅱ 基礎看護学方法Ⅰ (公衆衛生)Ⅱ 基礎看護学方法Ⅱ (日常生活動作技術) 基礎看護学方法Ⅲ (看護実践問題技術) 基礎看護学方法Ⅳ (感染・治療に伴う援助技術) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護演習 卒業研究		基礎セミナー 看護学概論Ⅱ 基礎看護学方法Ⅰ (公衆衛生)Ⅱ 基礎看護学方法Ⅱ (日常生活動作技術) 基礎看護学方法Ⅲ (看護実践問題技術) 基礎看護学方法Ⅳ (感染・治療に伴う援助技術) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護演習 卒業研究
専任	鍵小野 美和 (45) <平成30年4月>	専任	鍵小野 美和 (45) <平成30年4月>
	基礎セミナー 小児看護学概論 小児看護学方法 小児看護学実習 統合看護演習 統合看護実習 卒業研究		基礎セミナー 小児看護学概論 小児看護学方法 小児看護学実習 統合看護演習 統合看護実習 卒業研究
専任	原 ひろみ (51) <平成30年4月>	専任	原 ひろみ (51) <平成30年4月>
	基礎セミナー 小児看護学概論 小児看護学方法 小児看護学実習 公衆衛生看護学概論Ⅲ (学校保健) 統合看護実習 卒業研究		基礎セミナー 小児看護学概論 小児看護学方法 小児看護学実習 公衆衛生看護学概論Ⅲ (学校保健) 統合看護実習 卒業研究
専任	水谷 さおり (50) <平成30年4月>	専任	水谷 さおり (50) <平成30年4月>
	アカデミック技法 基礎セミナー 母性看護学概論 母性看護学方法 母性看護学実習 トリートメントケアセミナー 統合看護演習 統合看護実習 チーム医療演習 卒業研究		アカデミック技法 基礎セミナー 母性看護学概論 母性看護学方法 母性看護学実習 トリートメントケアセミナー 統合看護演習 統合看護実習 チーム医療演習 卒業研究
専任	上平 公子 (44) <平成30年4月>	専任	上平 公子 (44) <平成30年4月>
	基礎セミナー 公衆衛生看護学概論Ⅰ (地区活動) 公衆衛生看護学方法Ⅰ 公衆衛生看護学方法Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ (地区活動) 公衆衛生看護学実習Ⅱ (地区活動) トリートメントケアセミナー 卒業研究		基礎セミナー 公衆衛生看護学概論Ⅰ (地区活動) 公衆衛生看護学方法Ⅰ 公衆衛生看護学方法Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ (地区活動) 公衆衛生看護学実習Ⅱ (地区活動) トリートメントケアセミナー 卒業研究
専任	川上 祐子 (51) <平成30年4月>	専任	川上 祐子 (51) <平成30年4月>
	基礎セミナー トリートメントケアセミナー 在宅看護論 在宅看護学方法 在宅看護学実習 統合看護実習 卒業研究		基礎セミナー トリートメントケアセミナー 在宅看護論 在宅看護学方法 在宅看護学実習 統合看護実習 卒業研究
専任	小平 由美子 (45) <平成30年4月>	専任	小平 由美子 (45) <平成30年4月>
	基礎セミナー 小児看護学方法 小児看護学実習 統合看護実習 卒業研究		基礎セミナー 小児看護学方法 小児看護学実習 統合看護実習 卒業研究
専任	田中 里美 (51) <平成30年4月>	専任	田中 里美 (51) <平成30年4月>
	アカデミック技法 基礎セミナー 成人看護学概論 成人看護学方法Ⅰ(総合) 成人看護学方法Ⅱ(総合) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合看護演習 統合看護実習 看護教育学 卒業研究		アカデミック技法 基礎セミナー 成人看護学概論 成人看護学方法Ⅰ(総合) 成人看護学方法Ⅱ(総合) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合看護演習 統合看護実習 看護教育学 卒業研究
専任	藤吉 恵美 (43) <平成30年4月>	専任	藤吉 恵美 (43) <平成30年4月>
	アカデミック技法 基礎セミナー 老年看護学概論 老年看護学方法 老年看護学実習 統合看護実習 卒業研究		アカデミック技法 基礎セミナー 老年看護学概論 老年看護学方法 老年看護学実習 統合看護実習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名
専	講師	古川 紀子 (56) <平成30年4月> 基礎セミナー 老年看護学概論 老年看護学方法 老年看護学実習 統合看護実習 卒業研究	古川 紀子 (56) <平成30年4月> 基礎セミナー 老年看護学概論 老年看護学方法 老年看護学実習 統合看護実習 卒業研究
専	講師	道林 千賀子 (49) <平成30年4月> 基礎セミナー 公衆衛生看護学概論Ⅰ (地区活動) 公衆衛生看護学方法Ⅰ 公衆衛生看護学方法Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ (地区活動) 公衆衛生看護学実習Ⅱ (産業保健) 卒業研究	道林 千賀子 (49) <平成30年4月> 基礎セミナー 公衆衛生看護学概論Ⅰ (地区活動) 公衆衛生看護学方法Ⅰ 公衆衛生看護学方法Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ (地区活動) 公衆衛生看護学実習Ⅱ (産業保健) 卒業研究
専	講師	筑浦 文枝 (42) <平成30年4月> 基礎セミナー 基礎看護学方法Ⅰ (共通基本技術) 基礎看護学方法Ⅱ (日常生活援助技術) 基礎看護学方法Ⅲ (看護過程展開技術) 基礎看護学方法Ⅳ (診断・治療に伴う援助技術) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 卒業研究	筑浦 文枝 (42) <平成30年4月> 基礎セミナー 基礎看護学方法Ⅰ (共通基本技術) 基礎看護学方法Ⅱ (日常生活援助技術) 基礎看護学方法Ⅲ (看護過程展開技術) 基礎看護学方法Ⅳ (診断・治療に伴う援助技術) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 卒業研究
専	講師	矢野 優 (42) <平成30年4月> 基礎セミナー 精神看護学概論 精神看護学方法 精神看護学実習 トリートメントケアセミナー 統合看護実習 卒業研究	矢野 優 (42) <平成30年4月> 基礎セミナー 精神看護学概論 精神看護学方法 精神看護学実習 トリートメントケアセミナー 統合看護実習 卒業研究
専	講師	渡邊 美華 (45) <平成30年4月> 基礎セミナー 老年看護学概論 老年看護学方法 老年看護学実習 統合看護実習 卒業研究	渡邊 美華 (46) <平成30年4月> 基礎セミナー 老年看護学概論 老年看護学方法 老年看護学実習 統合看護実習 卒業研究
専	助教	熊澤 恵美 (46) <平成30年4月> 基礎セミナー 基礎看護学方法Ⅰ (共通基本技術) 基礎看護学方法Ⅱ (日常生活援助技術) 基礎看護学方法Ⅲ (看護過程展開技術) 基礎看護学方法Ⅳ (診断・治療に伴う援助技術) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 卒業研究	熊澤 恵美 (46) <平成30年4月> 基礎セミナー 基礎看護学方法Ⅰ (共通基本技術) 基礎看護学方法Ⅱ (日常生活援助技術) 基礎看護学方法Ⅲ (看護過程展開技術) 基礎看護学方法Ⅳ (診断・治療に伴う援助技術) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 卒業研究
専	助教	高橋 慶彦 (37) <平成30年4月> 基礎セミナー 成人看護学方法Ⅰ (急性期) 成人看護学方法Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合看護実習 卒業研究	高橋 慶彦 (37) <平成30年4月> 基礎セミナー 成人看護学方法Ⅰ (急性期) 成人看護学方法Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合看護実習 卒業研究
専	助教	田島 寛 (44) <平成30年4月> 基礎セミナー 公衆衛生看護学概論Ⅰ (地区活動) 公衆衛生看護学方法Ⅰ 公衆衛生看護学方法Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ (産業保健) 卒業研究	田島 寛 (44) <平成30年4月> 基礎セミナー 公衆衛生看護学概論Ⅰ (地区活動) 公衆衛生看護学方法Ⅰ 公衆衛生看護学方法Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ (産業保健) 卒業研究
専	助教	坂野 久美 (51) <平成30年4月> 基礎セミナー 成人看護学方法Ⅰ (急性期) 成人看護学方法Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合看護実習 卒業研究	坂野 久美 (51) <平成30年4月> 基礎セミナー 成人看護学方法Ⅰ (急性期) 成人看護学方法Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合看護実習 卒業研究
専	助教	福澤 大樹 (31) <平成30年4月> 基礎セミナー 在宅看護論 在宅看護方法 在宅看護実習 統合看護実習 卒業研究	福澤 大樹 (31) <平成30年4月> 基礎セミナー 在宅看護論 在宅看護方法 在宅看護実習 統合看護実習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専任	助教	松浦 美由 (33) <平成30年4月> 基礎セミナー 母性看護学概論 母性看護学方法 母性看護学実習 統合看護実習 卒業研究	専任	助教	松浦 美由 (33) <平成30年4月> 基礎セミナー 母性看護学概論 母性看護学方法 母性看護学実習 統合看護実習 卒業研究
専任	助教	後藤 邦恵 (49) <平成30年4月> 基礎セミナー 精神看護学方法 精神看護学実習 統合看護実習 卒業研究	専任	助教	後藤 邦恵 (49) <平成30年4月> 基礎セミナー 精神看護学方法 精神看護学実習 統合看護実習 卒業研究
専任	助教	山口 愛 (41) <平成30年4月> 基礎セミナー 成人看護学方法Ⅰ (急性期) 成人看護学方法Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合看護実習 卒業研究	専任	助教	山口 愛 (41) <平成30年4月> 基礎セミナー 成人看護学方法Ⅰ (急性期) 成人看護学方法Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合看護実習 卒業研究
			専任	助教	永田 可枝 (40) <平成31年4月> 基礎セミナー 成人看護学方法Ⅰ (急性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合看護実習 卒業研究
兼任	教授	間野 忠明 (80) <平成30年4月> チーム医療論 医学概論	兼任	教授	間野 忠明 (80) <平成30年4月> チーム医療論 医学概論
兼任	教授	石黒 啓司 (61) <平成30年4月> 薬理学 統合看護演習 チーム医療演習	兼任	教授	石黒 啓司 (61) <平成30年4月> 薬理学 統合看護演習 チーム医療演習
兼任	教授	近藤 裕二 (63) <平成30年4月> 医療データ分析論 チーム医療論	兼任	教授	近藤 裕二 (63) <平成30年4月> 医療データ分析論 チーム医療論
兼任	教授	高崎 昭彦 (52) <平成30年4月> 医療データ分析論 チーム医療演習	兼任	教授	高崎 昭彦 (52) <平成30年4月> 医療データ分析論 チーム医療演習
兼任	教授	田中 邦彦 (51) <平成30年4月> 統合看護演習	兼任	教授	田中 邦彦 (51) <平成30年4月> 統合看護演習
兼任	教授	中村 浩二 (54) <平成30年4月> 医療データ分析論 統合看護演習	兼任	教授	中村 浩二 (54) <平成30年4月> 医療データ分析論 統合看護演習
兼任	教授	幅 浩嗣 (66) <平成30年4月> 医療データ分析論	兼任	教授	幅 浩嗣 (66) <平成30年4月> 医療データ分析論
兼任	教授	前田 悟司 (66) <平成30年4月> チーム医療論			
兼任	教授	山岡 一清 (66) <平成30年4月> チーム医療論 微生物学 統合看護演習	兼任	教授	山岡 一清 (66) <平成30年4月> チーム医療論 微生物学 統合看護演習
			兼任	教授	杉山 剛志 (53) <平成30年4月> 基礎生物学 生化学
			兼任	教授	重山 昌人 (61) <平成30年4月> チーム医療論
			兼任	教授	唐沢 泉 (61) <平成30年4月> チーム医療論
			兼任	教授	永瀬 久光 (65) <平成30年4月> 環境科学概論
兼任	准教授	暹美 龍男 (56) <平成30年4月> 情報処理入門 基礎物理学	兼任	准教授	暹美 龍男 (57) <平成30年4月> 情報処理入門 基礎物理学
兼任	准教授	藤原 範充 (42) <平成30年4月> チーム医療演習	兼任	准教授	藤原 範充 (42) <平成30年4月> チーム医療演習
兼任	准教授	下郷 智弘 (44) <平成30年4月> 医療データ分析論	兼任	准教授	下郷 智弘 (44) <平成30年4月> 医療データ分析論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	准教授	永井 慎 (45) <平成30年4月>	人類遺伝・発生学
兼任	准教授	八田 武俊 (43) <平成30年4月>	心理学 情報処理
兼任	准教授	三崎 智之 (41) <平成30年4月>	基礎生物学 食生活論 生化学 統合看護演習
兼任	講師	赤堀 克己 (52) <平成30年4月>	基礎数学
兼任	講師	南 武志 (43) <平成30年4月>	医療データ分析論
兼任	助教	柳田 直子 (37) <平成30年4月>	基礎英語 英会話Ⅰ(初級) 英会話Ⅱ(中級)
兼任	助教	安田 悠子 (27) <平成30年4月>	カウンセリング技法 発達心理学 医療心理学
兼任	教授	中山 章文 (57) <平成30年4月>	微生物学
兼任	教授	出路 静彦 (55) <平成30年4月>	チーム医療演習
兼任	教授	小野木 満照 (59) <平成30年4月>	チーム医療演習
兼任	准教授	西出裕子 (57) <平成30年4月>	チーム医療演習
兼任	助教	杉浦 明弘 (36) <平成30年4月>	チーム医療演習
兼任	講師	菅原 太喜子 (45) <平成30年4月>	哲学 倫理学 生命倫理学 看護倫理
兼任	講師	青木 京子 (60) <平成30年4月>	医療安全管理学
兼任	講師	アンドリュー ヒッチング (54) <平成30年4月>	英会話Ⅰ(初級)
兼任	講師	池戸 亜紀 (42) <平成30年4月>	公衆衛生看護活動Ⅱ (従業保証)
兼任	講師	石山 光枝 (63) <平成30年4月>	看護管理学
兼任	講師	磯村 尚弘 (42) <平成30年4月>	ドイツ語
兼任	講師	大島 健次郎 (52) <平成30年4月>	疾病・治療Ⅰ (成人・老年Ⅰ)
兼任	講師	井上 真人 (57) <平成30年4月>	疾病・治療Ⅲ(精神)
兼任	講師	植木 哲 (73) <平成30年4月>	法学
兼任	講師	臼井 潤一郎 (45) <平成30年4月>	保健医療福祉制度Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	准教授	永井 慎 (46) <平成30年4月>	人類遺伝・発生学
兼任	准教授	八田 武俊 (43) <平成30年4月>	心理学 情報処理
兼任	准教授	三崎 智之 (41) <平成30年4月>	食生活論 統合看護演習
兼任	准教授	松吉ひろ子 (50) <平成30年4月>	チーム医療論 人体生理機能学Ⅰ
兼任	講師	赤堀 克己 (52) <平成30年4月>	基礎数学
兼任	講師	南 武志 (43) <平成30年4月>	医療データ分析論
兼任	助教	柳田 直子 (37) <平成30年4月>	英会話Ⅱ(中級)
兼任	助教	安田 悠子 (28) <平成30年4月>	カウンセリング技法 発達心理学 医療心理学
兼任	教授	中山 章文 (57) <平成30年4月>	微生物学 チーム医療論
兼任	教授	出路 静彦 (55) <平成30年4月>	チーム医療演習
兼任	教授	小野木 満照 (59) <平成30年4月>	チーム医療演習
兼任	准教授	西出裕子 (57) <平成30年4月>	チーム医療演習
兼任	助教	杉浦 明弘 (37) <平成30年4月>	チーム医療演習
兼任	講師	菅原 太喜子 (45) <平成30年4月>	哲学 倫理学 生命倫理学 看護倫理
兼任	講師	青木 京子 (61) <平成30年4月>	医療安全管理学
兼任	講師	アンドリュー ヒッチング (54) <平成30年4月>	英会話Ⅰ(初級)
兼任	講師	池戸 亜紀 (42) <平成30年4月>	公衆衛生看護活動Ⅱ (従業保証)
兼任	講師	石山 光枝 (63) <平成30年4月>	看護管理学
兼任	講師	磯村 尚弘 (43) <平成30年4月>	ドイツ語
兼任	講師	大島 健次郎 (52) <平成30年4月>	疾病・治療Ⅰ (成人・老年Ⅰ)
兼任	講師	井上 真人 (57) <平成30年4月>	疾病・治療Ⅲ(精神)
兼任	講師	植木 哲 (73) <平成30年4月>	法学
兼任	講師	臼井 潤一郎 (45) <平成30年4月>	保健医療福祉制度Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	王 莉莎 (56) <平成30年4月> 中国語
兼任	講師	大野 翔弘 (73) <平成30年4月> 環境科学概論
兼任	講師	大野 秀夫 (69) <平成30年4月> 医学概論
兼任	講師	岡本 祥成 (70) <平成30年4月> 健康科学概論 保健医療福祉制度論Ⅱ 公衆衛生看護活動論Ⅱ (産業保健)
兼任	講師	岡本 秀範 (67) <平成30年4月> 英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	萩田 誠一 (72) <平成30年4月> 経済学
兼任	講師	加藤 明美 (48) <平成30年4月> 家族援助論
兼任	講師	川越 市郎 (62) <平成30年4月> 疾病・治療論Ⅳ(母性)
兼任	講師	河村 昌子 (44) <平成30年4月> 家族援助論
兼任	講師	北村 隆幸 (37) <平成30年4月> ボランティア技法
兼任	講師	高 森坤 (46) <平成30年4月> 鍼灸・漢方セミナー
兼任	講師	後藤 真理 (52) <平成30年4月> ポルトガル語
兼任	講師	佐藤 和良 (74) <平成30年4月> 基礎化学
兼任	講師	澤井 美穂 (45) <平成30年4月> ターミナルケア論
兼任	講師	沢田 美代子 (76) <平成30年4月> 公衆衛生看護活動論Ⅲ (学校保健)
兼任	講師	篠崎 恵美子 (53) <平成30年4月> フィジカルアセスメント論
兼任	講師	染川 智勇 (51) <平成30年4月> 手話技法
兼任	講師	高田 幹夫 (44) <平成30年4月> 公衆衛生看護活動論Ⅱ (産業保健)
兼任	講師	森 敏幸 (67) <平成30年4月> 精神看護学概論 精神看護学方法
兼任	講師	趙 賢美 (44) <平成30年4月> 韓国語
兼任	講師	長崎 幸雄 (71) <平成30年4月> 人体構造学Ⅰ 人体構造学Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	王 莉莎 (56) <平成30年4月> 中国語
兼任	講師	大野 秀夫 (70) <平成30年4月> 医学概論
兼任	講師	岡本 祥成 (70) <平成30年4月> 健康科学概論 保健医療福祉制度論Ⅱ 公衆衛生看護活動論Ⅱ (産業保健)
兼任	講師	岡本 秀範 (67) <平成30年4月> 基礎英語 英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	森脇 昭史 (70) <平成30年4月> 経済学
兼任	講師	加藤 明美 (48) <平成30年4月> 家族援助論
兼任	講師	川越 市郎 (62) <平成30年4月> 疾病・治療論Ⅳ(母性)
兼任	講師	河村 昌子 (44) <平成30年4月> 家族援助論
兼任	講師	北村 隆幸 (37) <平成30年4月> ボランティア技法
兼任	講師	高 森坤 (46) <平成30年4月> 鍼灸・漢方セミナー
兼任	講師	後藤 真理 (52) <平成30年4月> ポルトガル語
兼任	講師	橋場 稔 (74) <平成30年4月> 基礎化学
兼任	講師	澤井 美穂 (45) <平成30年4月> ターミナルケア論
兼任	講師	沢田 美代子 (76) <平成30年4月> 公衆衛生看護活動論Ⅲ (学校保健)
兼任	講師	篠崎 恵美子 (54) <平成30年4月> フィジカルアセスメント論
兼任	講師	染川 智勇 (51) <平成30年4月> 手話技法
兼任	講師	高田 幹夫 (44) <平成30年4月> 公衆衛生看護活動論Ⅱ (産業保健)
兼任	講師	森 敏幸 (67) <平成30年4月> 精神看護学概論 精神看護学方法
兼任	講師	趙 賢美 (44) <平成30年4月> 韓国語
兼任	講師	江村 正一 (67) <平成30年4月> 人体構造学Ⅰ 人体構造学Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	西田 穂久 (55) <平成30年4月> 疾病・治療Ⅴ(小児)	西田 穂久 (56) <平成30年4月> 疾病・治療Ⅴ(小児)
兼任	講師	西村 直記 (50) <平成30年4月> 人体生理機能学Ⅰ 人体生理機能学Ⅱ	西村 直記 (50) <平成30年4月> 人体生理機能学Ⅱ
兼任	講師	西村ステファニー (34) <平成30年4月> 英会話Ⅰ(初級) 英会話Ⅱ(中級)	西村ステファニー (34) <平成30年4月> 英会話Ⅰ(初級) 英会話Ⅱ(中級)
兼任	講師	蜂須賀 三穂 (57) <平成30年4月> 社会図書・マナー技法	蜂須賀 三穂 (58) <平成30年4月> 社会図書・マナー技法
兼任	講師	服部 長務 (68) <平成30年4月> 体育実技	服部 長務 (68) <平成30年4月> 体育実技
兼任	講師	星野 政明 (76) <平成30年4月> 社会福祉学	星野 政明 (76) <平成30年4月> 社会福祉学
兼任	講師	水野 かすみ (53) <平成30年4月> 運動指導論	水野 かすみ (53) <平成30年4月> 運動指導論
兼任	講師	吉川 杉生 (62) <平成30年4月> 社会学	吉川 杉生 (62) <平成30年4月> 社会学
兼任	講師	渡邊 正 (76) <平成30年4月> 疾病・治療Ⅱ (成人・老年Ⅱ)	渡邊 正 (76) <平成30年4月> 疾病・治療Ⅱ (成人・老年Ⅱ)
兼任	講師	山岸 由佳 (41) <平成30年4月> 疾病・治療Ⅴ(小児)	山岸 由佳 (41) <平成30年4月> 疾病・治療Ⅴ(小児)
兼任	講師	高橋 正司 (57) <平成30年4月> 教育学	高橋 正司 (57) <平成30年4月> 教育学
兼任	講師	櫻井 麻加 (36) <平成30年4月> 母性看護学方法	櫻井 麻加 (36) <平成30年4月> 母性看護学方法
兼任	講師	菊藤 綾 (42) <平成30年4月> 母性看護学方法	菊藤 綾 (42) <平成30年4月> 母性看護学方法
兼任	講師	入山 淳子 (52) <平成30年4月> 成人看護学概論	入山 淳子 (52) <平成30年4月> 成人看護学概論
兼任	講師	桐原 照彦 (41) <平成30年4月> 成人看護学方法Ⅱ (慢性期)	桐原 照彦 (41) <平成30年4月> 成人看護学方法Ⅱ (慢性期)
兼任	講師	笠原 公靖 (41) <平成30年4月> 成人看護学方法Ⅱ (慢性期)	笠原 公靖 (41) <平成30年4月> 成人看護学方法Ⅱ (慢性期)
兼任	講師	長尾 ひろみ (49) <平成30年4月> 公衆衛生看護学概論	長尾 ひろみ (49) <平成30年4月> 公衆衛生看護学概論
兼任	講師	井戸 悦子 (65) <平成30年4月> 在宅看護方法	井戸 悦子 (65) <平成30年4月> 在宅看護方法
兼任	講師	渡辺 美也子 (44) <平成30年4月> 在宅看護方法	渡辺 美也子 (44) <平成30年4月> 在宅看護方法
兼任	講師	福井 是子 (60) <平成30年4月> 看護倫理	福井 是子 (60) <平成30年4月> 看護倫理
兼任	講師	仲井 美由紀 (53) <平成30年4月> 感染看護論	仲井 美由紀 (53) <平成30年4月> 感染看護論
兼任	講師	藤澤 江里子 (45) <平成30年4月> 小児看護方法	藤澤 江里子 (45) <平成30年4月> 小児看護方法
兼任	講師	小牧 亮世 (63) <平成30年4月> 医療英語	小牧 亮世 (63) <平成30年4月> 医療英語
			兼任 講師 西村 恭平 (36) <平成30年4月> 英会話Ⅰ(初級)

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は本表の赤字としてください。
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の誕生日を記入してください。
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・平成30年4月山本教授就任。
- ・平成30年4月永田助教就任。

18

- (注) ・ 変更内容を簡書書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の数は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12	6
名	名

19

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
9	3	10	8	30	10	3	10	9	32	10	3	10	9	32
(10)	(3)	(10)	(9)	(32)						[+1]	[0]	[0]	[+1]	[+2]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。**（記入例：1名減の場合：△1）

(2) ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授：65歳 教授以外：62歳	1	3
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C) ÷ 設置時の計画(A) = $\frac{32}{30} = 106.66$ %

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 ÷ 現在（報告書提出時）の状況(B) = $\frac{1}{32} = 3.12$ %

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし								
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

設置計画に比べ、平成30年度は就任辞退及び辞任等の者はいなかった。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年6月)	中日本自動車短期大学 モータースポーツエン 지니어リング学科の定 員充足率の平均が0. 7倍未満となっている ことから、学生確保に 努めるとともに、入学 定員の見直しについて 検討すること。	留意事項 平成30年度より入学定員を 40名から30名に引き下 げた。また、それに合わせ 、定員確保のため、モータ ースポーツの取り組み内容 、自動車メーカーの開発職や レース関連企業への就職実 績などの特徴をきめ細かく 広報した。この結果、平成 30年度の入学生数は35名と なっており、平均入学定員超 過率は0.83となった。(平成 30年度)	履行済

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当無し	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教授会の下部組織として、看護学部、保健科学部合同による全学のFD・SD委員会を設置して、FD・SD活動に関する推進事項を審議し、実行している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>委員会委員は、看護学部より2名（内1名は委員長）、保健科学部各学科より2名ずつ4名（内1名は副委員長で研究科専任教員を兼任）、事務より2名の8名で構成している。委員会は、委員全員の参加のもと、年4回程度開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>本学の次の事項を審議する。</p> <p>1)FD・SD推進のための企画及び実施に関すること。 2)FD・SDに関する報告書等の作成に関すること。 3)その他のFD・SDの推進に関すること。</p>
<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>平成29年度は下記の内容を実施した。平成30年度についても、同様な内容を計画している。</p> <p>①教職員FD・SD研修会（年2回） ②山形大学主催FD合宿セミナー又はコンソーシアム京都主催FDセミナーへの参加と報告 ③授業評価アンケート ④教員相互の授業参観</p> <p>b 実施方法</p> <p>①教職員FD・SD研修会 全教職員を対象として2時間程度の研修会を年2回実施する計画である。本年度も同様に実施する。 ②山形大学主催FD合宿セミナー又はコンソーシアム京都主催FDセミナー 新任教員から希望者を募り派遣する。参加後は、報告会を行う。本年度も同様に実施する。 ③授業評価アンケート 前期・後期の2回、ポータルサイトを通じて実施する。本年度もアンケート項目を見直し、同様に実施する。 ④教員相互の授業参観 新任教員を対象にして実施する。本年度も同様に実施する。</p>

c 開催状況（教員の参加状況含む）

①教職員FD・SD研修会（年2回）

平成29年度は、12/25と3/23の2回研修会を下記のとおり実施し、教職員ほぼ全員の参加があった。

- ・平成29年12月25日「情報セキュリティ10大脅威とその対策」（独）情報処理推進機構 鈴木氏
- ・平成30年 3月23日「他業種から安全管理に関するアプローチを学ぶ」日本航空㈱品質保証部 山谷氏

②山形大学主催FD合宿セミナー又はコンソーシアム京都主催FDセミナーへの参加と報告

平成29年度は山形大学主催FD合宿セミナーに1名を参加させ、上記研修会で報告会を行った。

③授業評価アンケート

ポータルサイト上で平成29年度は前期は7月、後期は1月末に入力期間を設け実施した。

④教員相互の授業参観

平成29年度は新任の教員を対象に実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

①教職員FD・SD研修会（年2回）

平成29年度は情報セキュリティ及び安全管理手法等を学び授業改善に役立てた。今年度も、教職員共に活用できるテーマを選定し実施して、授業改善に役立てて行く。

②山形大学主催FD合宿セミナー又はコンソーシアム京都主催FDセミナーへの参加と報告

参加教員の授業改善に役立てると共に、報告会により教職員と情報を共有した。今年度も同様に実施する。

③授業評価アンケート

ポータルサイトに公開された集計結果をもとに、教員業績システムの中で各教員が自己評価や授業改善点を明確にし、改善に努めている。

④教員相互の授業参観

参観後は、所定のアンケート用紙に記載して提出させ、授業担当教員にその結果をフィードバックしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成29年度実施日

- ・前期授業対象のアンケート入力期間：平成29年7月11日～7月27日
- ・後期授業対象のアンケート入力期間：平成30年1月22日～2月9日

b 教員や学生への公開状況，方法等

○教員への公開

・担当科目についてポータルサイトにより常時公開している。

○学生への公開

・公開期間を決めポータルサイトにおいて公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本看護学部は、超高齢社会や地域保健医療に貢献する高度な看護師・保健師を育成するため、より一層の看護教育の高度化への対応や、より利便性の高いキャンパスへの移転も考慮して、現在の保健科学部から独立して設置した。これに際し、設置の趣旨に記載したとおり、教育体制、教育内容は基本的に現行体制・内容を継続して実施して、保健科学部看護学科の在校生と看護学部看護学科に入学した学生との教育の質に差がないよう配慮している。一方、更なる教育体制・内容の充実を目指し、平成29年10月に文部科学省より公表された「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」への教育内容の適合性についてチェックを行って問題がないことを確認した。教育内容については、看護学部設置のアフターケア期間終了後の平成34年度実施を目指して、見直しを行っている。また、看護学部となることから、平成30年度より新たに看護学部長、看護学科長を選任して教育体制を強化した。実習体制についても、随時、指定規則に係る実習施設の変更承認申請の手続きを経て実習機関の増強を行うと共に、他学科との調整が行えるよう、各学科教員及び事務職員から委員を選任して全学的な「臨地(臨床)実習委員会」を平成30年度より設置した。なお、本看護学部は平成31年度より新キャンパスに移設することとしていて、新キャンパス校舎の改装工事及び移転準備も計画どおり行っている。

これらのとおり、開設初年度における設置の趣旨・目的については十分に達成している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成30年7月末 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(平成30年7月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

・平成30年10月に評価機関(財)日本高等教育評価機構の評価を受診予定

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (有 無)

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年6月1日)

(注)・「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。